



報道機関各位

リリース日：2024年10月23日

タイトル：2024年11月3日(日)

学校法人尚絅学院 第10回 尚絅音楽祭 開催のお知らせ
(於：東北大学百周年記念館 川内萩ホール)

報道関係者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます
平素より本学院の教育へご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

今年度で10回目を迎える学校法人尚絅学院「尚絅音楽祭」を 川内萩ホールにて開催します。内容は、大学・中高の管弦楽や合唱、指導者（声楽家・ピアニスト）によるプログラムを用意しました。

音楽には人と人を結びつける力があります。演奏者だけでなく、スタッフも生徒・学生・教職員が一つのチームとなって、“オール尚絅”でお贈りします。つきましてはご多忙の折恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

■「第10回 尚絅音楽祭」

- ・開催日時：2024年11月3日（日）14時開演（13時30分開場）
- ・場 所：東北大学百周年記念館 川内萩ホール【住所：仙台市青葉区川内40】
- ・参加費：無料（事前のお申込は不要です。どなたでもご来場いただけます。）
- ・出演者 / 代表演奏曲（予定・順不同）
 - 尚絅学院中学・高等学校合唱部 / 空も飛べるはず・心の瞳 ほか
 - 尚絅学院中学・高等学校管弦楽部 / 喜歌劇「天国と地獄」序曲より・ハンガリー舞曲 第5番
 - 尚絅学院大学管弦楽団 / 「新世界より」第4楽章ほか
 - 尚絅学院大学子ども学類・学校教育学類「合唱」・「佐藤ゼミ」履修生 / 主よ、人の望みの喜びよ ※管弦楽と合同演奏
 - 佐藤淳一(尚絅学院大学 芸術・スポーツ部門 教授) / (テノール独唱) 初恋・待ちぼうけ・落葉松
 - 土田定克(尚絅学院大学 芸術・スポーツ部門 教授) / (ピアノ) ピアノソナタ第2番「幻想ソナタ」
 - 音楽家を志している尚絅生 / バラード 第1番・アンダンテ・華麗なる大円舞曲 ほか
 - 中高・大学合同演奏 / ハレルヤ・尚絅学院歌

■ホームページ(URL)

尚絅音楽祭特設ページ (URL) : <https://ap.shokei.jp/effort/musicfes/>

尚絅音楽祭開催_紹介記事(URL) : <https://ap.shokei.jp/information/detail.php?p=776>

<本件に関する問い合わせ先>

学校法人尚絅学院 経営管理部
企画課 新谷 拓 (あらや ひろむ)
TEL : 022-381-3333
FAX : 022-381-3335
Email : kikakuka@shokei.ac.jp

Shokei Music Festival 2024

尚綱音楽祭

入場無料

10th ANNIVERSARY

2024 11/3 (日)

開場 13:30 / 開演 14:00

東北大学百周年記念会館 川内萩ホール

地下鉄東西線 国際センター駅下車 徒歩5分

出演
(予定)

尚綱学院中学校・高等学校 管弦楽部
尚綱学院中学校・高等学校 合唱部
尚綱学院大学 管弦楽団
尚綱学院大学 子ども・学校教育学類「合唱」&佐藤ゼミ履修生
土田 定克 (尚綱学院大学 芸術・スポーツ部門 教授)
佐藤 淳一 (尚綱学院大学 芸術・スポーツ部門 教授)
音楽家を志している尚綱生

お問い合わせ

詳細は「尚綱音楽祭 特設ホームページ」をご確認ください
≫ <https://ap.shokei.jp/effort/musicfes/>
学校法人尚綱学院企画課
≫ e-mail.kikakuka@shokei.ac.jp | tel.022-381-3333 | fax.022-381-3335

二次元コードからも
アクセスできます≫



●事前のお申込みは不要です。どなたでもご来場いただけます。

※駐車場の数には限りがございますので、公共交通機関をご利用ください。
※出演者やプログラムはやむを得ない事情により変更する場合がございます。



学校法人尚綱学院



尚綱音楽祭 実行委員長
佐藤 淳一

第10回 尚綱音楽祭開催にあたって

2015年から行ってまいりました尚綱音楽祭が今回で10回目を迎えました。これもひとえに皆様のご理解の賜物と深く感謝申し上げます。今年も中高生の管弦楽と合唱、大学生の管弦楽と合唱、そして、中高生・大学生合同のステージの演奏をお聴きいただきます。また、本学のピアニスト土田定克と佐藤淳一も演奏に加わります。この10年間は様々なことが起きました。中高生と大学生合同での演奏会というコンセプトは大変すばらしいものの、中高・大学とそれぞれに学事が違っているのも、その擦り合わせが難しかったこと、会場である中高の礼拝堂はオーケストラと合唱が乗るには舞台が狭かったこと、コロナの期間はオンライン公開でなんとか継続開催したこと等、関係各位の知恵と努力の結集によって10回続けることが出来ました。

本学のように中高生と大学生による合同企画の実施はなかなか難しいことだと聞いています。今後も引き続き学院が一体となって続けていきたいと願っています。皆様方には是非ご来場いただき、若い彼らの演奏を聴いて応援いただけますよう心からお願い申し上げます。

尚綱音楽祭実行委員長 佐藤 淳一

出演者プロフィール

中高 管弦楽部



「せっかくやるなら、やりたい曲に挑戦する!」ということで、多少編成や難易度的に無理があろうと前向きに挑戦している元気なオーケストラです。中学・高校1年で初めて楽器を持った部員も多いのですが、週3回の練習の1回1回を大切にしながら活動しています。昨年11月5日「日立システムズ エンジョイ!クラシック コンサート 2023」にて仙台フィルハーモニー管弦楽団と共演させて頂きました。毎年5月下旬～6月初旬に定期演奏会を実施しています。

大学 管弦楽団



音楽科を持たない大学ながらオーケストラの授業があり、その受講生で構成された全国に類を見ない管弦楽団として短大時代の1988年に発足。以後、徐々に発展を続けましたが、2014年の第21回定期演奏会を最後に愛好会に移行しました。しかし、教養を高めるためのカリキュラム改変に伴い2017年度から全ての学類、学年の学生が受講できる自由科目の授業として復活。初めて楽器を持つ学生もいますが、プロの演奏家や指導者をトレーナーとして迎え、個々の演奏レベル及び管弦楽団としてアンサンブル技術の向上に努めています。

中高 合唱部



私たち合唱部は同じ学び舎で勉学を共にする中学生と高校生が、「礼節」「感謝の心」「思いやり」の3点を大切に、演奏のみならず、全てにおいての「美しいハーモニー」を実現すべく、日々自主的に活動に取り組んでいます。定期演奏会や文化祭、賛美礼拝などの学内諸行事はもとより、地域の催しものなどに積極的に出演しています。国際ソロプチミスト仙台アイリスSクラブ会員。

大学 子ども・学校教育 学類 「合唱」&佐藤ゼミ 履修生



- 合唱履修生…子ども学類と学校教育学類2年生の科目「合唱」の履修生です。尚綱音楽祭やクリスマス礼拝に向けて練習を重ねています。
- 3年・4年佐藤ゼミ生…学年それぞれに無伴奏の声楽アンサンブルを通して個々の音楽的能力を高めています。4年生の終わりに行う卒業研究発表会でその成果を発表します。

テノール 佐藤 淳一

さとう じゅんいち



東京藝術大学声楽科卒業。同大学院独唱科修了。学生時代は主に宗教音楽を中心に研鑽を積む。1990～91年ミュンヘン留学。アダルベルト・クラウス氏に師事。帰国後は現在まで、宗教曲からオペラまで幅広く演奏活動を続けている。現在、尚綱学院大学子ども学類教授。仙台オペラ協会芸術監督・演奏部会員代表。仙台宗教音楽研究会(オルガンとカンタータの会)代表。宮城県芸術選奨新人賞並びに芸術選奨受賞。令和5年仙台市市政功労者。

指揮 持田 眞

もちだ まこと



東京音楽大学音楽学部音楽学科(管楽器専攻)を実技優秀賞を得て、卒業。1982年宮城フィルハーモニー管弦楽団(現仙台フィル)入団。2019年3月までトランペット奏者を務める。トランペットを故金石幸夫氏に、また、浜松国際管楽器アカデミーに於いて、マーク・グールド氏に師事及びアシスタントを務める。現在、演奏活動の他、尚綱学院大学非常勤講師、各地の管弦楽団や吹奏楽団のトレーナー等後進の指導にもあたっている。

ピアノ 土田 定克

つちだ ぎだかつ



第3回ラフマニノフ国際コンクール第1位。桐朋学園を経て、モスクワ音楽院卒業、同大学院修了。名指揮者フェドセエフら多数と協演。東京文化会館、東京オペラシティはじめロシア全域、ウクライナ、クロアチア、タイ、韓国等で演奏会。CD「ラフマニノフ24のプレリュード」「ピアノ名曲集 乗り越えて」、著書『ラフマニノフを弾け』『溢奏』、訳書多数。ウクライナ第二元大統領クチャマより功労感謝状授与。尚綱学院大学教授。